

平成22年度 地域包括支援センター専門委員会 開催報告

1 開催状況

	開催日	主な内容
第4回	2/2 (水)	・地域包括支援センターの課題解決に向けての検討
第5回	3/10 (木)	・予防給付ケアマネジメント業務新規受託事業者の審査 ・統括および地域包括支援センターの自己点検・運営方針結果について ・地域包括支援センターの課題解決に向けての検討

2 主な協議内容

(1) 地域包括支援センターの課題解決に向けての検討

- ・地域包括支援センターの課題解決に向けた今後のあり方について、専門委員会と質の向上委員会での意見を踏まえ、市民に身近な相談窓口の体制を維持しつつ、地域包括支援センターの数や人員を集約する案1及び案2について検討を行った。
- ・当該委員においては、案2に概ね賛成であり、引き続き検討を行うこととなった。

【委員の意見（主なもの）】

- ・人員を集約したほうが、虐待対応など困難事例に複数名で対応しやすく、うまくいくのではないかと。
- ・区役所に近い地域包括支援センターについては、数を集約してもよいのではないかと。
- ・人員、機能を区役所に集約すると、市民にも案内しやすく、関係機関としても各種事務手続きが1箇所のできることで手間がかからなくてよいのではないかと。
- ・市民・民生委員など地域の方の相談については地域包括支援センターに、それ以外については統括支援センターにするなど、機能の整理をすれば変更案が生きてくるのではないかと。
- ・地域が広いところなど訪問時間やその地域での関係性など、地域性を考慮して集約化を検討して欲しい。
- ・人員を集約するのであれば、統括機能をもつ統括支援センターの決定権や権限を明確にするべきではないかと。
- ・体制変更だけでなく、職員の質の向上や業務内容の充実も検討課題ではないかと。

(2) 予防給付ケアマネジメント業務新規受託事業者の審査

平成23年度予防給付ケアマネジメント業務新規受託希望事業者18社について審査し、承認した。

【委員の意見（主なもの）】

- ・平成23年4月開設の事業所や、ケアマネジャーが1名しかいない事業者が見受けられる。業務に不慣れな面もあると思うので、地域包括支援センターによる支援をお願いしたい。

(3) 統括及び地域包括支援センターの自己点検・運営方針結果について

統括支援センター及び地域包括支援センターが行った自己点検・運営方針結果について、事務局より報告。

【委員の意見（主なもの）】

- ・職員の能力向上を目指す内容が多い。地域包括支援センターの人員を集約する案であれば職員の能力向上につながるのではないかと。
- ・予防給付担当ケアマネジャーのスキルアップを目標として挙げてほしい。
- ・目標および手段の内容が適切かどうか、チェックしていくことも検討しなければならない。
- ・地域情報などを集約している冊子などを有効に利用することも検討してほしい。

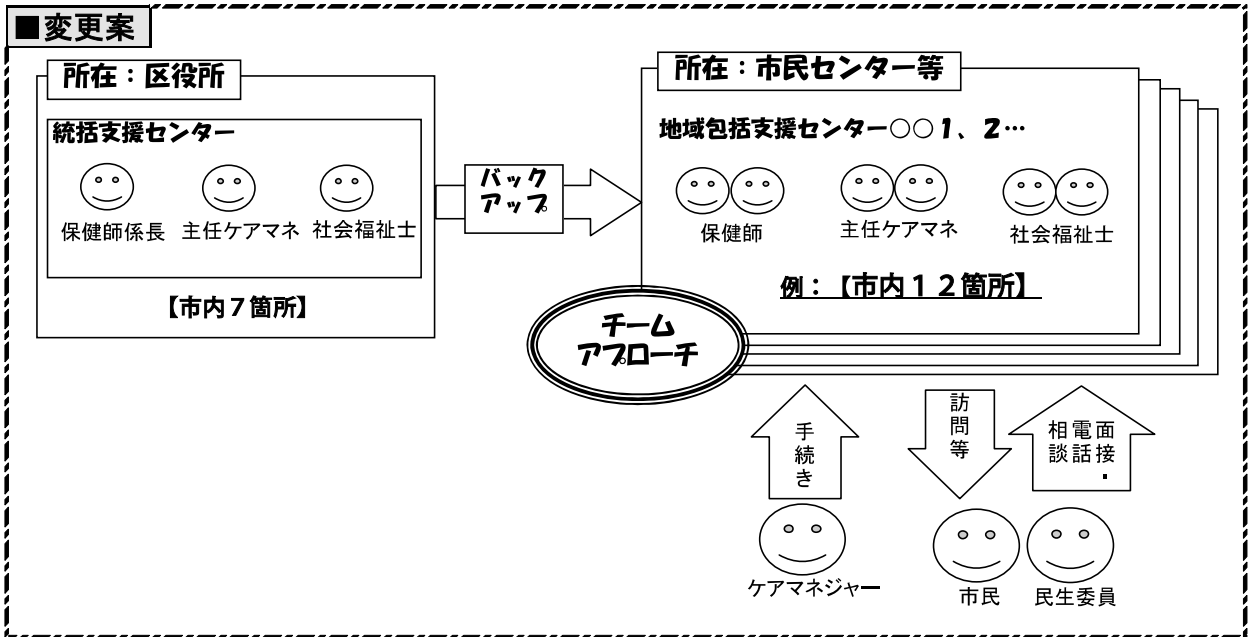
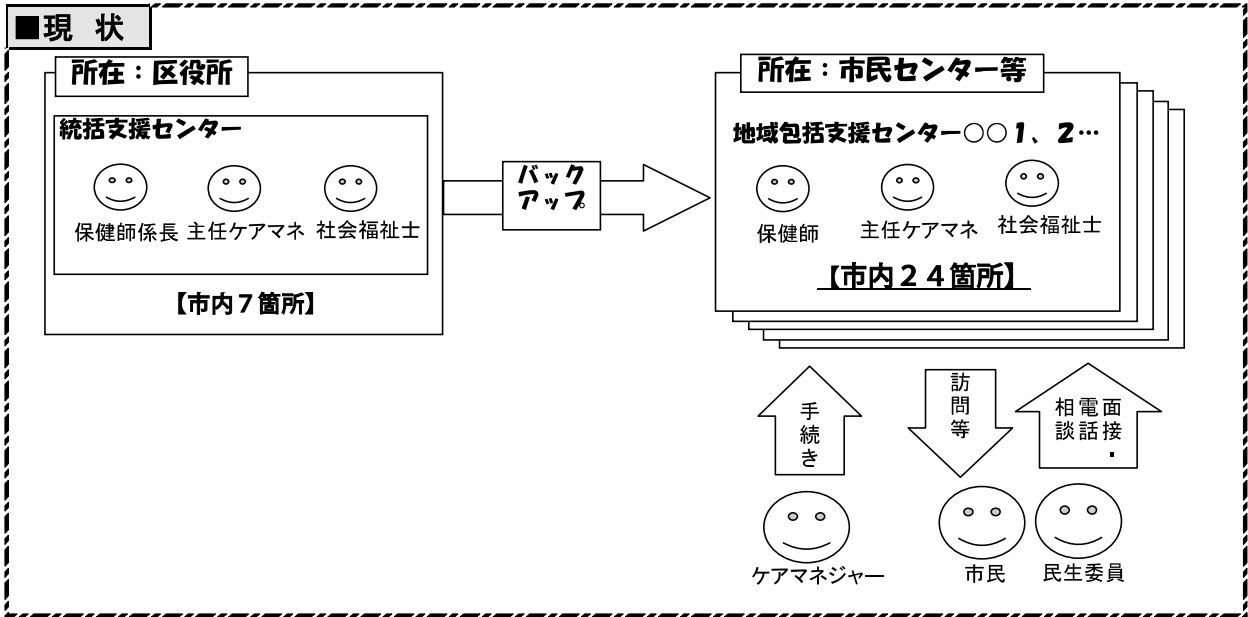
(4) 地域包括支援センターの課題解決に向けての検討

専門委員会での地域包括支援センターの課題解決に向けた検討結果について、高齢者介護の質の向上委員会への報告内容を事務局より説明。

【委員の意見（主なもの）】

- ・高齢者介護の質の向上委員会への報告内容について承認。

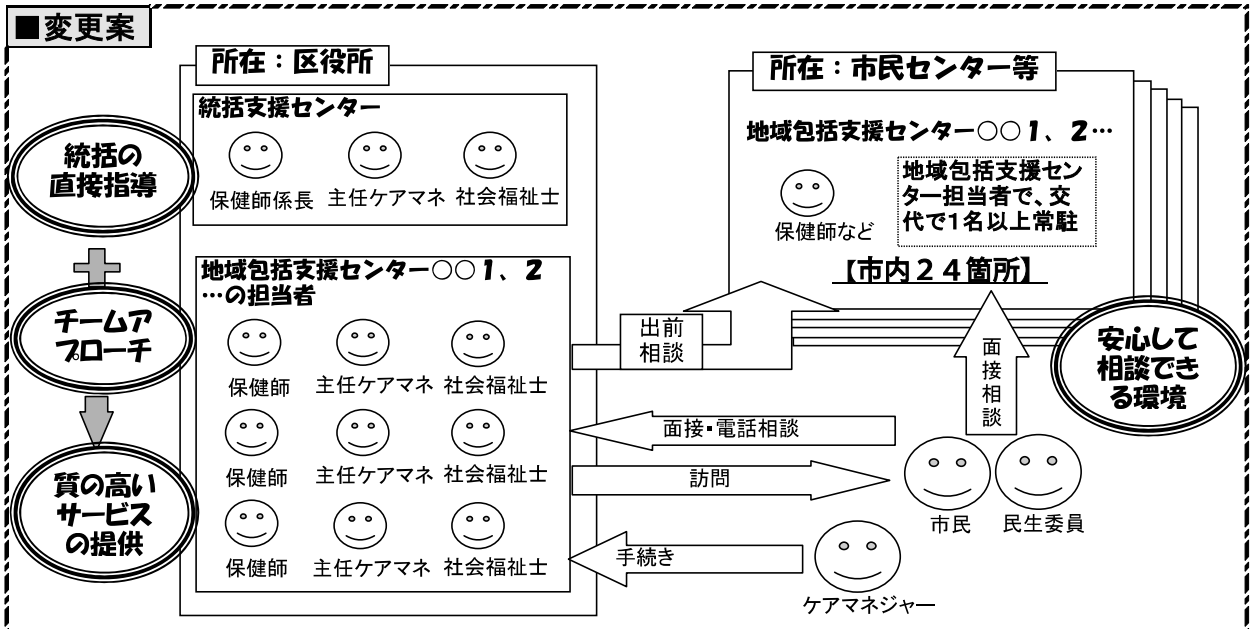
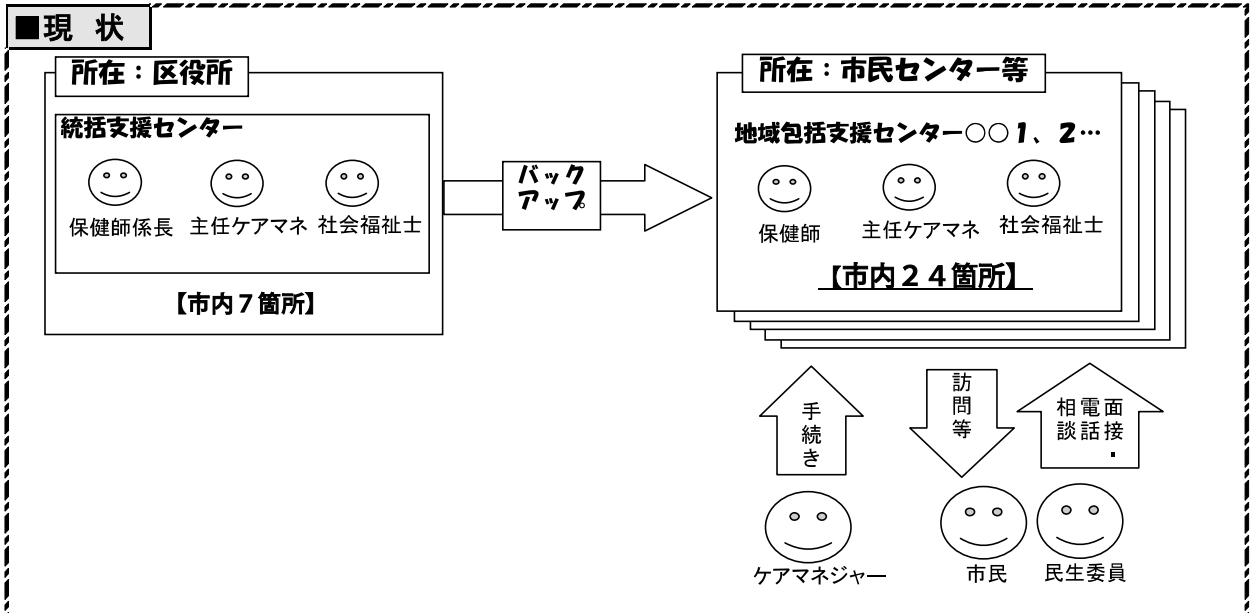
<変更案1> 地域包括支援センター数集約案のイメージ



主な課題	市民の声	ケアマネジャー等の手続きと同じ場所では、安心して相談できない。	課題解決の有無	×
	関係者の声	高齢者の圏域別の地域包括に手続きに行くのに、手間がかかる。		×
	職員の声	同職種同士の相談ができない。新人のOJTができない。		○
	業務上	場所が離れており、統括支援センターのバックアップや業務管理が行き届かない。		×
市民の意見	介護予防に関する実態調査で、地域包括支援センターの長所に「身近な場所にある」が上位。(平成19年2月:1位、平成19年11月:2位、1位「いつでも相談できる」)	意見の反映	×	
相談の現状	地域包括支援センターに直接訪れる市民が重なることはほとんどない。(1センターの1日の平均相談件数:面接1~5件、電話相談約19件、訪問約7件)			

変更によって、課題が1つ改善するが、市民の意見を反映していない状況となる。

<変更案2> 統括支援センターへの人員集中案のイメージ



主な課題	市民の声	ケアマネジャー等の手続きと同じ場所では、安心して相談できない。	課題解決の有無	<input type="radio"/>
	関係者の声	高齢者の圏域別の地域包括に手続きに行くのに手間がかかる。		<input type="radio"/>
	職員の声	同職種同士の相談ができない。新人のOJTができない。		<input type="radio"/>
	業務上	場所が離れており、統括支援センターのバックアップや業務管理が行き届かない。		<input type="radio"/>
市民の意見	介護予防に関する実態調査で、地域包括支援センターの長所に「身近な場所にある」が上位。(平成19年2月:1位、平成19年11月:2位、1位「いつでも相談できる」)		意見の反映	<input type="radio"/>
相談の現状	地域包括支援センターに直接訪れる市民が重なることはほとんどない。(1センターの1日の平均相談件数:面接1~5件、電話相談約19件、訪問約7件)			

変更によって、課題が改善し、市民の意見を反映できている。